

# 事業内容

公益社団法人日本麻酔科学会は定款で定める目的を達成するために各種事業を行っている。

## 1. 事業の一覧

---

### 1) 公益目的事業

#### (1) 学術事業・交流事業

麻酔科学の新たな発展のために国内外の先端的研究を奨励・推進・支援し、あわせて国内外の関連学術団体をはじめ関係方面と研究・協力をを行い、もって新しい技術と正しい知識の普及・啓発を図り、その成果を社会に還元する事業

#### (2) 教育事業・安全事業

会員が専門的知識や技術を習得するために、研修及び麻酔科関連業務に関わる医師及び施設の審査・認定を実施し、あわせて麻酔科関連医療に関わる調査および研究の推進を図り、特に麻酔科関連の事故症例の検証により再発防止に努め、もって社会に安全で良質な医療を提供するための事業

#### (3) 公益事業

一般市民が安全で安心できる医療を受けるために、医療に関する正しい知識や認識の向上を図り、さらに麻酔科医が担う医療の役割や重要性を啓発し、普及させる事業

### 2) 収益事業

#### (1) 医師賠償責任保険の加入仲介事業、所得補償保険の加入仲介事業

#### (2) 展示出展事業

## 2. 事業内容

---

### 公益目的事業について

#### (1) 学術事業・交流事業

##### 1) 学術集会、学術講演会等の開催

国内外で基礎的、臨床的研究ができる体制を整え、研究成果発表の場として学術集会・講演会を開催する。

##### 2) 海外団体との連携

国際関連学会への委員・講師派遣、これらの団体と連携して国際的な研究交流を行う。

3) 研究業績等の表彰

最優秀演題（年次学術集会及び支部学術集会時）や学会賞 5 賞（山村記念賞・青洲賞・若手奨励賞・社会賞・松木賞）の選考と表彰を行う。

4) 情報発信・情報集約

機関誌「Journal of Anesthesia」、オンラインジャーナル「Journal of Anesthesia Clinical Reports (JACR)」の発行、準機関誌「麻酔」の発刊を行う。

また、客観的で公正な査読を行った「学術集会抄録、プログラム集」を発行・会員専用ホームページに掲載し、麻酔科関連用語の統一、周知する目的で「麻酔科学用語集」を発刊している。

これらの発刊物は必要に応じて 会員、官公庁、研究者、国内外の関連する学術団体等に頒布する。

5) 関連する学術団体との連絡および協力

国内外、領域問わず、医療関連団体や企業との交流を深め、横断的な医学・医療情報等を発信する。

また、麻酔博物館を設置して、国内外の麻酔科関連分野の学術論文雑誌、医療関連雑誌、映像等をそこに収集・集約し、医学・医療について正しく理解できる場を、会員はもとより一般市民やマスメディアに提供する。

(2) 教育事業・安全事業

1) 教育プログラム等の策定

均質な医療水準の維持と普及のため、麻酔科医を対象に段階的目標を設定し、こちらを達成するための教育プログラムを提供する。

2) 麻酔業務に関わる医師、施設の審査・認定

1)に則り、設定した到達目標の到達度にあわせ、各種資格認定を実施する。また、各施設で均質な医療水準における安全で質の高い麻酔科関連医療を提供するため、各施設、専門研修プログラム（施設群）の認定、これらの運用細部の検討を行う。

3) 麻酔業務に関わる医療従事者の審査・認定

術前・術中・術後（周術期）における基礎的な教育を受け、その知識習得を証明する資格として、複数の医療従事者（看護師、薬剤師、臨床工学技士など）を対象に資格認定を実施する。

4) 生涯教育・研修

会員・非会員を問わず、最新の知識定着を目的とした教育講座（講演開催・e-learning 配信）を提供する。

5) 教育普及

周術期（手術前・中・後）の麻酔科業務について協働する医療従事者の教育とその

指導者養成のため、周術期管理チームセミナー、心肺蘇生教育を行う。また、感染対策の専門家である Infection Control Doctor を増やすため、ICD 講習会を実施する。

6) 安全な医療実現のための調査

- 麻酔関連偶発症例調査
- 麻酔関連機器故障情報調査
- Closed Claims Project の推進と研究
- 周術期肺血栓塞栓症発症例調査

7) 安全な医療実現のための情報提供

本学会の認定施設、医療施設・医師を対象とした教材・指針・ガイドラインをインターネット上で公開する。

8) 麻酔科関連医療の安全性の担保

医療事故防止のため、麻酔科医療に関わる指針（ガイドライン、プラクティカルガイド）、手順（マニュアル）等を作成、公開する。会員および企業から得た麻酔科関連医療機器及び器具の故障情報を収集、製造企業にヒアリングを行い、こちらの結果について公開、周知する。

(3) 公益事業について

1) 医療全般、医療事故等の相談窓口

一般市民からの麻酔科関連医療に関する質問を電子メール、文書等で受け付け回答を行う。

2) メディア戦略の検討・実施

マスコミなどからの取材協力、ニュースリリースの配布などを積極的に実施する。また、様々な手段を通じて、広く社会に麻酔科関連医療を正しく理解してもらうことを目的とし活動する。

3) 会員・市民への出版物発行

一般市民向けにわかりやすく麻酔について解説した冊子「麻酔のしおり」を病院施設に発行する。会員向けに広報紙の発行、メールマガジン配信により情報提供を行う。

4) 博物館の設置、及びセミナー、シンポジウム等の開催

麻酔博物館において今日の麻酔科関連医療が確立されるまでの歴史的展示物を無料で公開する。また、一般市民向けの教育講座や臨床研修医・医学生向けの講演会を実施し、麻酔科関連医療について正しい知識と認識を普及させる。

## 収益事業について

(1) 医師賠償責任保険の加入仲介事業

医師賠償責任保険と所得補償保険の団体加入契約を、保険会社と締結し、その仲介事務事業を行う。

(2) 展示出展事業

学術集会開催時に展示小間を提供し、医療機器、医薬品、検査機器、医療情報示説、書籍等を対象として出展を実施する。